

四国中央市福祉バス運営審議会 会議概要

1. 日 時 平成26年3月27日(木) 午後2時～
2. 開催場所 四国中央市 新宮庁舎1階応接室
3. 出席者 委員 出水 武美、河村英茂、山本正行、藤原清子、大西敦子(敬称略)
事務局 総務課長 田辺 敏文、課長補佐 豊田 正、
係長 石川 恵次

会議の概要

1. 開会挨拶(出水会長)
2. 新委員及び事務局紹介

平成25年9月30日の任期満了により西宇恭子さんが退任、新委員として大西敦子にお願いすることとなったことを報告。また、四国中央市旅客自動車条例 第8条第1項～第3項に基づき、会長及び副会長の選任については事前に委員の皆さまに了承を頂いた旨を報告。

なお、人事異動により河村英茂副会長、事務局の総務課長及び課長補佐が新年度交替となることを併せて報告。

3. 平成24年度及び平成25年度の利用状況について事務局から説明。平成25年度の2月末現在で平成24年度に比べて、遠距離通学者の減少により定期券の収入が約30万円減少、回数券の収入は約2万7千円減少、運賃収入も若干の減少となる見込みである。昨年度に比べ、1月、2月の積雪時に運休や、折り返し運行が少なかったため、この時期は利用が増えている。このことについては、今年度、電源立地地域対策交付金事業により新瀬川線と上山上部線の車輛2台を4輪駆動車にしたことが要因。運転手の運転の負担の軽減にもつながり、利用者からも好評である。平成26年度は同事業で上山下部線他3路線で利用している車輛(4輪駆動車)を購入する予定である。

(委員からの意見)

特になし

4. その他

(委員からの意見)

委員から福祉バスの運行時刻について、新瀬川線の最終便は廃止でもいいのではないか。(事務局)

現在、利用頻度は少ないが、利用者がいるので、今後の利用状況を見ながら判断することといたしたい。また、上山上部線の昼の便を少し早めてほしいとの要望があったが、日浦線とせとうちバスとの接続の関係もあるので検討させてほしいと伝えていることを報告。

平成26年度は運行の更新時期であるので、全体的な見直しを検討しながら進めたいと報告。

5. 閉会